

日本天文学会昭和45年度春季年会記事

(8月号のつづき)

昭和44年度(1969~70)会務報告

昭和44年度は本会創立62年度、社団法人設立後36年にあたる。

本年度に行なった事業

(イ) 出版

1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)

第21巻 第2号 90頁(昭和44年7月25日発行)

第21巻 第3号 86頁(昭和44年9月25日発行)

第21巻 第4号 106頁(昭和44年12月25日発行)

第22巻 第1号 132頁(昭和45年3月25日発行)

2) 天文月報

第62巻第4号から第63巻第3号まで毎月発行

(ロ) 年会

1) 春季年会

昭和44年5月21日(水)~24日(土)

国立科学博物館講堂で開催 講演数 112, 出席者数約180名

2) 秋季年会

昭和44年10月14日(火)~16日(木)

宮城県医師会館で開催 講演数93, 出席者数約140名

総会および評議員会

(イ) 通常総会

昭和44年5月22日午前11時より国立科学博物館講堂で開催

議長: 清水理事長

議題: ① 天体発見賞贈呈の件 ② 昭和43年度会務報告 ③ 昭和43年度会計報告 ④ 昭和44年度予算 ⑤ 運営検討委員会報告 ⑥ 次期理事長, 副理事長選出 ⑦ 次期理事指名 ⑧ 欧文研究報告編集委員委嘱 ⑨ 大塚奨学金選考委員の改選

(ロ) 評議員会

1) 昭和44年4月21日午後2時より東大理学部天文学教室会議室で開催

議長: 藤田良雄

議題: ① 昭和43年度会務報告 ② 昭和43年度会

天体写真の写し方

小型カメラ・小望遠鏡による天体写真の撮影 藤井旭 編著

天体写真は、特別の用意をしなくても、魅惑あふれる夜空を写せ、楽しむことが出来ます。本書は、『天文ガイド』の読者の実際の作例を示しながら、対象についてどんな方法で写せばよいのか。現象やプリントでは、どの点に注意すればよいかなど、わかりやすく解説したやさしい入門書。

■ A 5変型判・256頁・定価550円好評発売中!

広角レンズによる星野写真集

好評をいただいた『望遠レンズによる星野写真集』の姉妹編。小型カメラの特徴を生かし、とくに広角レンズによる星野の楽しみ方を紹介しました。星座・星雲・星団をはじめ、銀河まで、カラー4枚、モノクローム117枚を収録した。

■ B 5変型判・128頁

天文ガイド別冊 550円 好評発売中

誠文堂新光社

東京・神田錦町1-5/振替東京6294

計報告、昭和44年度予算 ③ 天体発見賞贈呈の件 ④ 次期正副理事長、理事の推薦 ⑤ 欧文研究報告編集委員委嘱 ⑥ 大塚奨学金選考委員改選 ⑦ 会計監査選任

2) 昭和44年5月21日正午より国立科学博物館実験講義室で開催

議長: 筒木政岐

議題: ① 総会提出議案の確認 ② 事務所問題検討委員会についての報告

その他の主な会務

(イ) 天体発見賞および功労賞贈呈

本田実氏、彗星1968c、1968年7月7日発見、彗星1968e、1968年8月31日発見。なお藤川繁久氏および伊藤勝司氏には、独立発見として功労賞が贈呈された。

昭和44年度収支決算書 (単位円)

(自昭和44年4月1日 至昭和45年3月31日)

経常部

収 入		支 出	
前期繰越金	115,262	欧文報告調整費	1,591,807
会費	2,309,480	欧文報告複製費	1,511,600
欧文報告販売	2,754,800	天文月報調整費	1,884,899
天文月報販売	284,044	諸印刷物調整費	677,320
諸印刷物販売	1,297,104	送料通信費	393,298
欧文報告委託出版	210,900	荷造運搬費	120,000
欧文報告刊行補助費	260,000	交通費	556,060
印税	685,700	定会費	167,092
預金利子	104,497	謝金	483,400
雑収入	869,800	人件費	572,455
		物品費	122,400
		大塚奨学金	60,000
		雑費	461,326
		次期繰越金	289,930
合計	8,891,537	合計	8,891,587

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,258,845	学术交流費	271,200
賛助会費	740,000	研究補助金	336,000
		人件費	131,000
		送料通信費	2,355
		次期繰越金	1,258,290
合計	1,998,845	合計	1,998,845

天文学会保有有価証券 金額 2,220,487 円

内訳 住友信託 貸付信託 1,000,000

三菱銀行 定期預金 1,100,487

電信電話債券 120,000

- (ロ) 昭和44年度本会奨励研究生には荒井賢三、湯浅学、佐場野裕、暮泉武の4名を決定した。
- (リ) 文部省より昭和44年度研究成果刊行補助金として欧文研究報告に対し260,000円が交付された。
- (ル) 昭和44年度、大塚奨学金受領者の該当者はなしと決定した。
- (レ) 東京天文台一般公開を後援した。(10月18日)
- (ロ) 東洋レーヨン科学技術研究助成候補として2件申請した。
- (リ) 前期に引続いて学会運営検討委員会を設置して、定款改訂をふくむ運営方法の改善を討議した。委員会は、理事長に対し45年3月30日答申を提出した。
- (ル) 学術会議に対して科研費配分審査委員候補者の推薦を行なった。(12月20日)

学術交流関係会務

- (イ) 年会発表者に対する旅費の補助を行なった。
- (ロ) 各種研究会に対して旅費の補助を行なった。

会員数

	本年度	昨年度
名誉会員	5	(6)
特別会員	360	(325)
通常会員	1,427	(1,439)
賛助会員	47	(48)

昭和45年度収支予算書 (単位円)

(自昭和45年4月1日 至昭和46年3月31日)

経常部

収 入		支 出	
前期繰越金	289,930	欧文報告調整費	1,800,000
会費	2,300,000	欧文報告複製費	0
欧文報告販売	1,500,000	天文月報調整費	1,900,000
天文月報販売	250,000	諸印刷物調整費	1,050,000
諸印刷物販売	800,000	送料通信費	300,000
欧文報告委託出版	250,000	荷造運搬費	150,000
欧文報告刊行補助費	250,000	交通費	150,000
印税	400,000	定会費	100,000
預金利子	90,000	謝金	300,000
雑収入	900,000	人件費	700,000
		物品費	0
		大塚奨学金	120,000
		雑費	459,930
合計	7,029,930	合計	7,029,930

臨時部

収 入		支 出	
前期繰越金	1,258,290	学术交流費	250,000
賛助会費	740,000	研究補助金	336,000
		人件費	160,000
		送料通信費	5,000
		欧文報告目録刊行費	250,000
		予備費	997,290
合計	1,998,290	合計	1,998,290